

留学だより No.7

帰国まで 100 日を切り、少し寂しいような日本が恋しいような複雑な気持ちです。日本の学校が新型コロナウイルスによって休校や、行事の規模縮小や延期などのニュースをアメリカでも耳にするため非常に心配ですが、日本の皆さんが健康に過ごすことを日々祈っています。

<精神面>

精神的に安定した生活を送っています。日本ではかなり、不規則な生活と自己管理ができない不安定な日常を送っていたのですが、ホストファミリーと生活することで大幅に改善されました。ホストファミリーは他人であり、かつ私はホストファミリーを変更したことで現在のホストファミリーと良い関係を築き上げるには極力迷惑をかけないように努めることが大切です。自分の娘ではないのに、毎日の学校の送り迎えや食事などを提供してくださることは非常にありがたいことであると気付きました。ホストファミリーが私にしてくださる一つ一つの行動に感謝を示すために自立し、そして自分にできることは全力で手伝うことは言葉で感謝を示すよりも、相手に伝わります。正直なところ日本にいるときは自分の両親に甘えていたため、彼らが私にやってくれていたことは親としての義務であり、当然の役目だと思っていました。もちろん感謝をしていなかったわけではありませんが、そこにありがたみを見いだせていませんでした。しかし、現在は自立した生活を目標としているため、今まで両親がやってくれていたことをすべて自分で行っています。そのため、両親が自分にやってくれていたことはどれだけ大変か、どれだけありがたかったかがしっかりと理解できました。留学を通して両親のありがたさを、身をもって体験し、自立することで自己管理能力が身につきました。これは留学によって得られた武器であり留学中に私が達成したかった目標でもあります。挑戦には挫折と苦労がつきものですが、多感な時期である高校生に留学に挑戦して本当に良かったと改めて思いました。

<文化面>

何と今月はアリゾナで日本のお祭りがありました。かなり大規模なお祭りで、現地にある日本のお店や企業、パフォーマンス団体が様々なブースを設けていました。私はアメリカ人の友人と日本人の友人と三人で行きました。アメリカ人の友人は日本の文化が大好きで当日お祭りのはっぴを着ていました。私と日本人友人は折角の機会なので日本から持ってきた浴衣を着てお祭りに行きました。たくさんの方が私たちの浴衣をほめてくださってとても嬉しかったです。また、雨が降っていたのにも関わらずたくさんの方がお祭りに来ていて、異国の地アメリカでこんなにたくさんの方が日本の文化に興味を持っていることが非常に感慨深かったです。たこ焼きや焼きそば、お好み焼きからタイ焼きまで、様々な日本

食のブースがあり、アメリカの友人もとても喜んでいました。次世代リーダー育成道場の事前研修で日本の文化についてしっかりと学んでいたため、アメリカの友人に様々な日本の文化や食べ物などを紹介することができ、充実した一日でした。



日本のアニメが大好きなアメリカ人のコスプレイヤーの方にお会いしました！



たこ焼きが売っていました！6つで6ドルは少し高かったですが、とてもおいしかったです。

そして、2月といえばバレンタインデーですね！日本では女性が好意をもっている男性もしくは普段から親しくしている男性にチョコレートを渡すのが一般的ですよ。近年では逆チョコ、友チョコなどというものもありますが（笑）。しかし、アメリカでは男性が意中の女性や親しい女性の友人にチョコレートを渡すというのが一般的です。チョコレートだけではなく、テディベアやメッセージカードを渡す人もいます。中には1メートル以上の大きさの熊のぬいぐるみをもっている人もいました。またホワイトデーもありません。アメリカの友人に日本とアメリカのバレンタインデーの違いを説明したら非常に驚いていました。

文化の違いは本当に興味深いですね！



バレンタインデーの日に友達とクッキーを作りました！

さらに、ホストシスターがガールズスカウトに入っているため、私も一部活動に参加しています。ガールズスカウトの資金集めのために毎年アメリカではガールズスカウトクッキーというものを販売しています。スーパーマーケットの前にブースを設け、販売します。15枚入りでひと箱5ドルというかなり値段の高いものですが、クッキーの認知度が高いのと、種類が豊富で非常に美味しいのでとても人気です。クッキーの売った数によってイベントに無料で参加することができたりします。私たちは馬に乗るイベントに参加することができました。馬に乗ることは初めてだったのですが、かなり楽しむことができました。



クッキーの販売の様子



＜学校生活＞

最近は Student Government の仕事が忙しく、充実した学校生活を送っています。2月の末に Stugo の地区カンファレンスに行ってきました。地区カンファレンスは年に二回開催される Stugo のイベントで、Phoenix city の学区内にある Stugo が一つの学校に集まり、リーダーシップやボランティア活動などのお話をゲストの方々から聞きます。また、学校ごとにテーマを決めてドレスアップしていきます。私の学校は、今回はバレリーナでした。もちろん講演だけではなく、体を動かすアクティビティや ダンスパーティーのようなものもありました。地区カンファレンスといってもダンスをみんなでするあたりが、堅苦しすぎないアメリカのカジュアルな文化で、非常に面白いと思います。また、Stugo のメンバー同士の仲を深めるために土曜日の夜に集まって体育館で、ゲームをしたり、体育館の電気を消して暗闇の中でかくれんぼしたり、学校全体を使った鬼ごっこをしたりと非常に楽しかったです。アメリカに留学した当初は全く Stugo になじむことができずかなり苦労しましたが、今では友達もたくさんでき、毎日が本当に楽しいです。

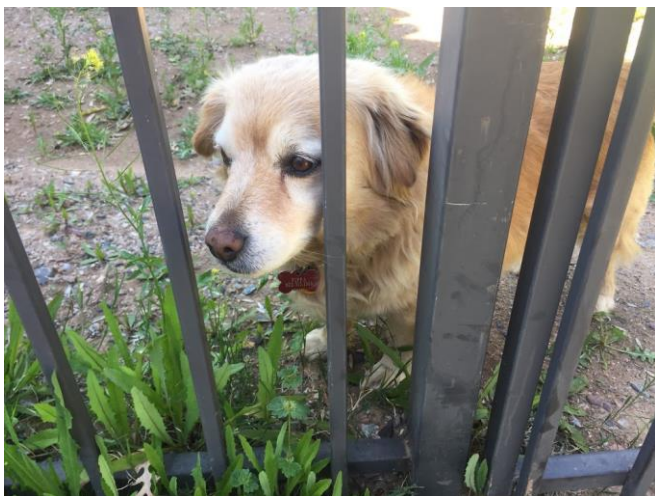


カンファレンスの様子



Stugo の友達と

新しい家にはかわいい犬と猫がたくさんいて、毎日癒されています。



それではまた来月の「留学だより」でお会いしましょう！ See you next month☺

吉田